

# みらい 将来について考える、12のこと。

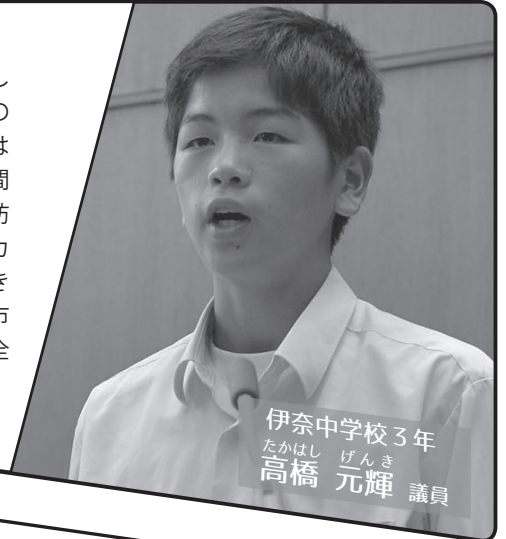
ここからは、中学生議員の皆さんそれぞれの質問や提案と、それに対する市側の答弁をお伝えします。  
12人それぞれが、つくばみらい市のまちづくりや将来について、自分で考え、自分の言葉で、その想いを投げかけました。

## ■高橋議員の質問

私たちの通学路は、周りが田んぼに囲まれていて、夜は街灯がほとんどないため、真っ暗になってしまいます。また、大通りの抜け道として使われている場所も多く、登下校時に車がたくさん通ります。「歩行者注意」などの看板の設置、そして街灯の設置を求めます。

## ●市長の答弁

防犯灯はおおむね60m間隔で設置しており、蛍光灯からLED防犯灯への取り換えを順次進めています。今後は安全な通学路の確保に向け、短い間隔での防犯灯の設置や、照度の高い防犯灯の設置などの対策、危険箇所をカラー舗装するなどの整備を進めていきます。ご提案の看板設置についても市民の皆さんの意見を伺いながら、安全対策を行ってまいります。



## ■水野議員の質問

本市の住宅地の周りには自然とふれあえる場所が少ないと感じています。そこで、自然とふれあえるきっかけとして、農業体験を提案します。このようなイベントを通し子どもとお年寄りのふれあいの場の創出、さらには第一次産業を担う次世代の育成にもつながると思います。市で、そのような企画があれば教えてください。

## ●市長の答弁

市では、市内の小学校での農業体験の実施や、自然とふれあい農業に対する理解を深めてもらうことを目的として市民農園を開設しています。農業体験は、農業への理解・関心が深まるとともに農業の後継者問題解消策の一つとして期待できますので、今後も学校を含め、関係機関と連携を図りながら進めていきたいと考えています。



## ■会沢議員の質問

母校の小張小学校では「子ども綱火」というものがありました。小張小学校が陽光台小学校に統合されると子ども綱火の活動も少なくなってしまうと思います。そこで私は「綱火税」という新たな税金を設置することを提案します。綱火を保護するためのお金にあてたり、そのお金で綱火のイベントを開催することで、綱火の保存につながると思います。

## ●市長の答弁

今後も引き続き「子ども綱火」が継続できるように、このような声を学校などに伝えていきたいと思います。また、「綱火税」の導入については、十分な検討が必要となり、国の同意も必要となります。綱火税ではありませんが、「ふるさと納税」を活用する方法もあると思えます。今後は「クラウドファンディング」の活用も含め、調査・研究をしていきたいと思います。

